



No.106
(2022/11/1)

編集・発行：**教育課**
串本町サンゴ台690番地5
TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

海 金 剛

町指定文化財 記念物(名勝・天然記念物)
平成19年1月5日指定

今月号の表紙は「海金剛」です。

鷹の巣展望台から檜野崎を望むと、荒々しい景観が広がります。朝鮮半島の名称金剛からその名をとった景勝地で、熊野灘の荒波に研磨された岩石・断壁の配置は、自然が織りなす造形の極致と称賛されており、昭和58年には朝日新聞の「21世紀に残したい自然100選」にも選ばれています。

5頁に海金剛にまつわる民話を紹介しています。

令和4年度

串本町社会教育振興計画がまとまりました。



串本町社会教育委員会では、串本町における社会教育の推進のため、串本町社会教育振興計画を策定し、社会教育の発展・向上に努めています。

その振興計画を住民のみなさんに知っていただくため、抜粋したものを掲載しますので、社会教育の振興にご協力をお願いします。

【社会教育のねらい】

1、生涯教育・スポーツの推進

◆「いつでも」「どこでも」「だれでも」学習することができるという生涯学習の理念を基本とし、学習した成果を生かせる環境づくりに努める。

◆学習や趣味活動を通して自己表現の支援を行い、地域づくり・絆づくりを活性化することで「豊かなこころ」を育み、町民が充実した生活が送れるよう生涯学習を推進する。

◆高齢化が進む中で、スポーツを通して健康な体づくりを行うことで、高齢者の心ゆとりのある充実した生活を確保し、地域コミュニティの拡大、又は地域活性化を図るための場を提供する。

2、青少年健全育成の推進

◆青少年の健全育成を目指し、地域ぐるみでの「共育コミュニティ」活動を基盤とし、学校・家庭・地域が一体となって串本町の将来を担っていく子どもたちの豊かな育ちや学びを支えるため、「コミュニティスクール」を推進する。

◆子どもたちが幅広い視野をもち、より多くの知識等を習得できるよう手助けするため、体験学習や交流の機会を提供する事に積極的に取り組む。

3、歴史・文化・芸術の振興

◆町民主体の歴史・文化・芸術活動を積極的に支援する。

◆串本町文化センターを発信・活動拠点として、老若男女全てに親しまれる運営に努める。

◆文化財の保存・整備活動を活発に行うとともに、歴史・生活・食文化等、様々な文化を次世代へ伝承する取組を推進する。

◆本町が他に誇れる郷土史や郷土文化、郷土資源、自然環境についての研究や学習を推進し、次世代へ伝承していく「語り部」を始め、様々なボランティアの育成に努める。

◆生涯学習の地域づくりへの活用を促進し、郷土愛や郷土への誇りを育む。

4、人権尊重・男女共同参画社会の形成

◆人々が互いに尊重し、個性と能力を十分に生かせる社会の実現に向けての意識づくりや環境づくりを推進する。

◆すべての町民がこころ豊かに暮らすことができる人権尊重社会の実現に努める。

【社会教育振興方策】

- ①社会教育指導体制の充実
- ②社会教育施設の整備充実
- ③芸術、文化の推進
- ④社会教育における人権学習・障がい者（児）教育・平和教育の推進
- ⑤学習機会の提供と充実
- ⑥社会教育関係団体等の活動推進と連携の促進
- ⑦学社連携・融合の推進
- ⑧視聴覚教育及びニューメディアの推進
- ⑨社会体育の推進
- ⑩図書館サービスの向上



11月は「子供・若者育成支援推進強調月間」です

11月は「子供・若者育成支援強調月間」としてさまざまな行事や広報活動などが行われます。この機会に、子供・若者の育成支援について、一人一人が自らの問題として、家庭や学校はもちろん職場や地域社会などでも考えてみませんか？

大会結果

串本町教育委員会、串本町体育協会主催の各種大会が開催されました。

結果については次のとおりです。

第6回串本町ソフトバレーボール大会

9月4日串本町立体育館において、第6回串本町ソフトバレーボール大会が開催されました。

近年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなどで中止が続き、4年ぶりの開催となりました。

当日は男女混合の4チームが参加し、リーグ戦で順位を決定しました。

【優勝チーム】
ジェントル
guts



第24回串本町6人制バレーボール大会

9月25日町立体育館において、第24回串本町6人制バレーボール大会が開催されました。

当日は男女混合の4チームが総当たりで試合を行いました。

新型コロナウイルス情勢の影響で調整不足もあり、町内からの参加は「スマイル」の1チームにとどまりましたが、3位と健闘しました。

【優勝チーム】
海ぼうず
【準優勝チーム】
リュメル



優勝チームのみなさん

第18回串本町盆野球大会

8月15日、串本軟式野球クラブ協会が主催し、教育委員会及び串本町体育協会が後援する第18回串本町盆野球大会が開催されました。

サン・ナンタランド野球場、古座川町高瀬若者広場球技場の2会場において、参加7チームによるトーナメント戦が行われました。

この大会は、町内の野球チームの交流を図るとともに、帰省中の町出身者の参加もできるようにと、毎年お盆に行われます。

第13回大会から、雨や新型コロナウイルス



ウィルス感染症の影響での中止が続き、6年ぶりの開催となりました。当日はそれぞれの会場で、夏の暑さを吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。なお、大会の結果は次のとおりです。

【優勝】下剋上
【準優勝】ジャスティ



優勝：下剋上



準優勝：ジャスティ

公民館本館講座

スポーツボイス体験教室

9月29日から、町立体育館にてスポーツボイス体験教室が始まりました。

スポーツボイスは音楽にあわせて発声しながら全身を動かすエクササイズで、口腔機能や代謝機能の向上などの効果が期待できるとされています。



初回は10名の方が参加し、スポーツボイスを初めて体験する方もおられました。スポーツボイス公認インストラクターの森まりかさんから筋肉の動き方や、効果的な水分の取り方を教わりながら、楽しく汗を流していました。12月15日まで6回実施を予定しています。

社会を明るくする運動 作文コンテスト

社会を明るくする運動は、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。本文コンテストは、次代を担う全国の小・中学生のみなさんに、日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行などに関して考えたことを作文に書くことを通じて、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的に開催しています。

9月14日に町内の小・中学生から提出のあった作文50点に対して串本町選考会を行いました。
なお、入賞者は次のとおりです。

【小学生の部】	
最優秀賞	橋杭小5年 大内 葉菜
優秀賞	橋杭小5年 勝山 莉子
優秀賞	橋杭小5年 人見 葉菜
【中学生の部】	
最優秀賞	串西中2中 寒川 春音
優秀賞	串本中2年 堀 夏妃
優秀賞	串本中2年 吉田 日葵

潮崎本之宮神社 秋祭り

10月9日、潮崎本之宮神社（串本）で、3年ぶりに秋祭りの獅子舞が奉納されました。

コロナ禍で2年間神事のみとなっていました。今年も退散の祈願として、今年の当番会の串本南氏子会が境内で獅子舞を奉納することになりました。

串本の獅子舞は江戸時代の安永年間（一七七二―一八〇）に古座から伝わったと言われており、現在の演目は、幣の舞、神宮の舞、神明讚、扇の舞、剣の舞、乱獅子、花掛り、寝獅子、天狗となっています。

平成元年6月16日には同氏子会を含む串本四氏子会が町の無形民俗文化財に指定されています。

当日はあいにくの雨でしたが、氏子の皆さんが熱のこもった舞を披露しました。



津荷と矢櫃の縁

有田市の南西部に位置する、海辺の小さな集落矢櫃地区にある南龍神社は、今年創建350周年を迎えますが、その始まりは串本町津荷の二組の夫婦でした。

江戸時代初期、初代紀州藩主である徳川頼宣が海上警備の見張り役として津荷の漁夫、茂兵衛と妻くま、茂太夫と妻ちよめの二夫婦を、人間のなかつた土地に諸役を免除して住まわせたのが矢櫃の始まりとされています。

それぞれ海老舟、鮑舟を3艇ずつを与えられ、漁場に恵まれた二組の夫婦の子孫が次第に繁栄し、矢櫃は漁村として発展してきました。

住民たちはその恩を忘れないため、頼宣死去の翌年の1672年に南龍神社を建立し「頼宣座像」を祀りました。

昭和40年代には、両夫婦の公德を顕彰して、地域の中央の広場に「矢櫃祖先の碑」が建立されています。

有田市の有田市郷土資料館では、11月27日まで「創建三五〇周年記念特別展 南龍神社と矢櫃」が開催されていますので、観覧してみたいかがでしょうか。

図書館からのお知らせ

10月27日(木)～11月9日(水)

串本町図書館では期間中「作家の系譜」をテーマに、夫婦・親子・兄弟姉妹などの家族作家の展示をしています。どうぞご利用ください。



大人のためのおはなし会

11月5日(土) 10時30分

■主催：串本町図書館

■協力：ぶっくらぶ串本

毎年、文化の日を中心にした2週間は読書週間です。電子メディアの発達によって。世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことはわかりありません。くらしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。



令和4年度

串本町小・中学生ポップコンクール

受賞作品決定

町教育委員会・町子ども会連絡協議会主催による令和4年度串本町小

・中学生ポップコンクールを開催しました。7月19日から8月19日の期間で作品を募集したところ、336

点の応募がありました。(昨年度は361点)

審査の結果、次の方々の作品が入賞しました。入賞作品は図書館に展示しておりますので、ぜひご覧ください。

【小学生の部】応募総数126点
(4年38点、5年45点、6年43点)

最優秀賞

田原小4年 西 さつき

4年優秀賞

潮岬小 東口 心海
木下 幸志朗

5年優秀賞

西向小 山下 翔
松原 妃奏

6年優秀賞

潮岬小 阿波 菜々
富澤 わかな

【中学生の部】応募総数210点
(1年66点、2年66点、3年78点)

最優秀賞

潮岬中3年 大岡 梨乃

優秀賞

串本西中1年 中谷 和香
串本中1年 吉田 美月
潮岬中3年 西野 菜穂
串本中3年 堀 美奈希
串本中3年 梶川 文音
潮岬中3年 松原 琴音



中学生の部
最優秀賞



小学生の部
最優秀賞

「髪とき島」串本町民話伝説集より

表紙の「海金剛」が舞台の民話を紹介します。

大昔樫野の庄屋に善右門と言う人があった。彼は正直な男であったが厳格というか大変律儀者の庄屋として名が通っていた。善右門には女の子が何人もおったが末は独り息子の善兵衛が唯一人。末弟だけに親とは打って変った気立てのやさしい男であった。

彼の近所に可愛らしい娘がおった。娘の名はお浪といい家は貧しかったが大へん明るい素直な娘であった。善兵衛は成人するに及んで彼等二人はいつの間にとなく互に憎からず思いを寄せる様になり、やがて人目を忍ぶ仲となった。人の噂に上る様になると善右門は捨てて置けず。

「賤しい身分の者はめとる事は出来ない」と厳として息子に言い渡し、彼の願いはきき入れなかった。善兵衛は気の弱いまま父に抗する事も出来ず悶々の日を送る内、やがて島の対岸、「高方原」の由緒ある家から嫁が迎え入れられる事になり秋の亥の子の日盛大な婚礼の宴が夜の更くるまで賑やかにつづいていた。然しこうした賑の宴をよそにお浪の姿は忽然として島から消えて行った事を

誰も気付く者はなかった。やがて後になって家人の気付く所となり大騒となつて村中、山から浜辺まで三日三晩隈なく探し求めたが、お浪は杳として遂に見出せなかったが、只海金剛の磯辺の岩の上にたしかにお浪の愛用しておった一本の櫛が残されてあった。

人の噂も七十五日とかお浪の話も漸く消えた頃、新婚のあけくれに善兵衛の胸にもいつしかお浪の事が忘れられる様になったある日、彼は隣の良吉と共に海金剛の「みのわ」の磯へ磯釣に出かけた。

昨日まで荒れていた海も今日は嘘の様に静かに凪いでいた。竿をかついた二人の若者が驚巢から「みのわ」の磯に出て釣竿を肩から下し釣の用意にかかった漸く日は西に傾むいて紺碧の海は遠く水平線の彼方にかすんでいる。やがて用意が出来た二人は釣針に餌をつけて、シュツト竿を打ち海中へ投入された。その日は二人には面白い程何匹もよく釣れた。暫くして魚の当りもなくなった頃、竿の先から眼を放して先方を見たとたん。良吉は「おい！あれは

！」と驚きの声を上げた。善兵衛も「何じゃ」とその方を見た。天を魔する切り立った剣のさきの様な三角の大岩の天辺の上



に天から降ったか、海から上ったか一人の女性が腰かけて長い長い丈なす黒髪を梳いているではないか。二人の若者は真青になったまま顔を見合わずだけで物も言わず氷つく様な体を強く両手で拱いたままジツトそれを眺めていた。岩上の美人は、

若者達が眺めているのを知ってか知らずか後向きになってセツセと烏の濡れ羽色の艶々と黒光りする長い黒髪を梳いている。その髪の毛長い長い事、何丈もあって先は波の上まで垂らしているではないか。二人は余りの不思議さに尚も眼を凝らしていると、彼女はフトその手を休めたかと思うと「ヒョイ」と振り返り、若者達の方に顔を向けて「ニターツ」と笑った。その顔はまさしく「お浪」ではないか、善兵衛は思わず

「お浪！」と驚歎の余り、大声を上げて叫んだが、彼女は唯又沖の方を向いたまま何の答えもせず髪を梳いて居る。二人は急に恐ろしくなり崖道をかけ登ると一目散になって「あのき」の道走って帰って来た。人

家まで来るや仲間の者達に今見た岩上の女の話をした。

こわいもの見たいは人の常、この話を聞いた者達は「そんな馬鹿なことあるもんかい」「わがらも行って見よう」「よしいころ」と若者達が大勢どやどやと「あのき」の道を通つて驚巢の鼻へ来て教えられた三角岩を見た。しかしそこには既に人影も何もなく海金剛の灘の中に、切り立った島のみが何事もなかったかの様に突兀としてそびえ紺碧の波が砕けているだけであった。

それから樫野の人々はこの島の事を誰いうとなく「髪とき島」と呼ぶ様になった。

海金剛の岸壁に立って眺めると轟轟として「髪とき島」に打ち寄せる怒濤の中に何かしらお浪の叫び声でも聞く様な神秘的な気分が迫って来る。

※この伝説の人名は適当につけたものであることを記す。
(表記は昭和44年発行当時のものから一部変更しています)





「距離感」

今の世の中は、情報機器が急速に進歩して、はるか遠くで起こっている出来事が、瞬時に自分の目に飛び込んできて、あたかも自分の目の前で起こっているように感じてしまいます。また、遠くに居る人や全く面識のない人でも、簡単に言葉や文字や映像で交流することができ、相手があるものすごく身近に居るように感じてしまいます。

ロシアのウクライナ侵攻、安倍元首相の襲撃事件、電話やメールを使った種々の詐欺事件、新型コロナウイルスの濃厚接触等、多くの人が関心を持った大きな出来事にしても、「距離感」をどう感じ、どう行動するかが大切ではないでしょうか。

人間の「距離感」には、「物理的距離感」と「心理的距離感」があるそうです。

「物理的距離感」は、視覚や聴覚を使って判断できるため、自分のものにするのは容易のように思います。人や物事に対して「近い」と判断した場合でも、「遠い」と判断した場合でも、概ね間違った行動にはならないでしょう。

ロシアのウクライナ侵攻が、世界中を震撼させました。武器を持たな

い一般市民や無力な女性や幼い子どもまで攻撃を受け、尊い人命が数多く失われました。テレビやインターネットでその惨状をつぶさに見せられ、多くの人が心を痛めたことでしょう。たいへんな出来事でしたが、「物理的距離感」が遠いので、思ったよりは適正で冷静な判断ができたのではないかと思います。

新型コロナウイルスの濃厚接触者の認定は、初期の頃と比べてずいぶん変化してきました。私も、以前であれば濃厚接触者とされたであろう出来事が二度ほどありましたが、何事もなく済んでいきました。「物理的距離感」の「遠い」と「近い」の判断が、的確に行われているからこそできるのでしょうか。

一方で「心理的距離感」は、人によって差があるし、同じことに対してでも、その時その時によって違が出てくるし、「遠い」と判断した場合でも、「近い」と判断した場合でも、適正な行動がとれるかどうか難しくなってきました。

普通に考えれば遙か遠い存在であるはずの安倍元首相を、自分の家庭を苦しめた身近な人として捉え、銃殺という暴挙に及んだ犯人は、「心理的距離感」が「近い」と判断したのであるが、恐ろしい出来事でした。

電話やメールを使って人を欺き、多額の金品を奪い取る事件が、なか

なか後を絶ちません。本当の姿を見たいのに、「心理的距離感」が「近い」と感じさせられてしまうのは、本当に不思議な感じがしますが、それだけ判断が難しいということでしょうか。

日常生活でも、「物理的距離感」と「心理的距離感」の判断で、苦勞したり失敗したりすることがいくつもあります。

大好きなゴルフでは、ピンが近づいてくるに従って、残り距離がとも気になってきます。同じ百ヤードでも、周りの景色によって長くも短くも感じ、「物理的距離感」が感わされるのです。プロではないのですからいつも同じ距離を打てるわけがないのに、残り何ヤードを気にし過ぎて、失敗することが多々あります。

「物理的距離感」も「心理的距離感」も一番「近い」と感じている家族に対してでも、失敗したことがあります。

娘とは小さい頃からずっと一緒にお風呂に入っていました。小学五年生になって心身に成長してきた娘

の姿をうれしく思っていた私は、ある夜、一緒にお風呂に入りながら、『お前もいっちょまえにオッパイも大きくなってきたなあ』と言いました。すると、今までニコニコとしていた娘の表情が変わり、黙り込んでしまったのです。そして、翌日からのお風呂は、決して私と一緒に入ることはなくなりました。私は、自分のうれしさを表したつもりだったのですが、思春期に入っていた娘にとっては、ショックな言葉だったのでしょうか。

またゴルフの話になりますが、残り百ヤードはとも気にするのに、残り三十センチのパットは、ほとんど気にせずつい打ってしまいます。そして、それを外してしまい、『何しやるんな。』と自分に自分で腹を立ててしまいます。

一番身近に居る家族にだって、それぞれの気持ち（心理）はよく分かっているつもりでも、自分の感情にまかせて強い言葉を発したり、深く考えないで行動して相手の心を傷つけたりすることが、日常生活の中でよくあるのではないのでしょうか。

平穏で、安心して毎日を過ごしていくためには、人や物事との「距離感」を正しく判断して、「近い」からと気を緩めることなく、きちんとした対応をしていくことが必要ではないでしょうか。

(森 博司 編集委員)



第18回 串本町民総合展

11月11日(金)～13日(日)

午前9時～午後4時30分

●串本町立体育館

【部門】 生花、山野草、工芸、俳句、俳画、手芸、書、各公民館出展コーナー、その他

●串本町文化センター

【部門】 写真、絵画、特別展示、他

主催：串本町・串本町教育委員会

お問合せ先：串本町教育委員会



第14回 串本ナンタン ジュニアマラソン記録会

主催 串本ナンタンジュニアマラソン記録会 実行委員会

日時 12月11日(日) 午前8時～13時

場所 串本町総合運動公園
多目的グラウンド(サンゴ台1105)

種目 ◎ファミリーの部(400m)
◎小学生の部(低学年1000m 男女別)
(高学年2000m 男女別)
◎中学生の部(3000m 男女別)
◎高校生以上男女はオープン参加と
します。

その他 参加費200円 全員に記録証交付
(ファミリーは1組で200円)
詳しくは、要項をご覧ください。

同時開催です。
参加賞・福引抽選
お楽しみに!!

■主 管 串本南端RC
■後 援 串本町教育委員会・串本町体育協会
■お問合せ 串本町教育委員会 教育課 TEL.67-7260
または南端RC 小川(090-4569-1708)

第8回 串本ナンタン クロスカントリー大会

主催 串本ナンタンクロスカントリー大会 実行委員会

日時 12月11日(日) 午前8時～13時

場所 串本町総合運動公園
多目的グラウンド(サンゴ台1105)

種目 クロスカントリー 特設コース距離6km
参加資格 高校生・一般
(18歳未満の方は保護者の同意が必要です)

その他 参加費800円
表彰 1～6位(男女別)
詳しくは、要項をご覧ください。

申込締切 11月18日(金)
先着50名(定員になり次第締切)

